

病名彙解

木
八
卜
二



病名彙解序

原夫正五倫之名者所以聖人之
布政也詳百病之名者所以醫師
之施治也仍其名不窮其實則政
興治皆不行然則名義大哉
病之名雖實醫之典籍惟廣豈
可一朝而考之乎又白記之方術

鬼彈	極病	鬼瘡	玉衛
鬼疔	魚尾疔	氣疔	牛疔
狂風	奇風	糾風	疔瘡
遊刺	遊腫	遊面	疔瘡
油風	遊火	湧泉	勇疽
雄丁瘡	湧疔	遊走	幽癰
○女部	面腫	面腫	面風
眼瘡	面腫	面腫	面風
面胞	面腫	面腫	面風

○美部	○志部	傷寒	傷寒
脈痺	傷風	傷寒	傷寒
脈疽	酒客病	酒癖	酒癖
時毒	心痛	真心痛	真心痛
手癩	痔漏	腫瘍	腫瘍
雌丁瘡	椒眼	蛇瘻	赤白瘡
○女部	傷風	傷寒	傷寒
脈極	酒客病	酒癖	酒癖
彌月	心痛	真心痛	真心痛
○女部	傷風	傷寒	傷寒
面腫	酒客病	酒癖	酒癖
面腫	真心痛	真心痛	真心痛
面腫	腫瘍	腫瘍	腫瘍
面腫	蛇瘻	蛇瘻	蛇瘻

病

瘰癧 八門ニ云 渾身瘡ヲ生シ瘰癧ノ如クニ母箇破シテ水
ヲ出シ内ニ石一片アリ指伸ノ大ナク如シ泡シテ復生ス肌
瘰癧ノ肉ヲ抽盡シテ治スヘカラス前ノ瘰癧ト同證ナリ

津部

頭痛 眞頭痛ハ腦髓泥丸ニ引コトク痛手足冷テ節ニ
至ルモノハ死ス外感ノ頭痛ハ必ス寒熱アリ
頭痛ト云フモノ
頭風 八門ニ云素ヨリ痰アルモノ或ハ柳木ニテ涼ヲトリ辟

飽仰面シテ賊風 腦ニ入 耳ニ入 鼻ニ入 頸項ヨリ以
上耳目口鼻眉稜ノ間ニ處トシテ吾體ノ如クオラセ
アリ 頭及浮頰ニシテ自ヲホハサルモノアリ 口舌味ニシテ
ルモノアリ 或ハ耳聾 或ハ目痛 或ハ眉稜上下掣痛 或ハ
鼻中香ヲ聞ハキハメテ香ニク臭ヲ聞ハキハメテ臭ク或ハ
又ハ呵欠ニテ眩暈ノ狀ヲナス甚シキトキハ項強硬身
體拘急此正頭風也 雲林カ曰頭痛常ニ發スルモノ
ヲ頭風ト云フ

痛風 適身骨節走り注テ疼痛スルナリ皆氣血風濕痰火
ノナス所ナリ其ハナハタニキモノヲ白虎歷節風ト云リ

痛風

痛風

痛風

もし血出サレバ皮脈膨ミテ鼓ノ如シ須臾ニシテ眼鼻ノ氣
一脹合セラレ此ヲ脈溢ト名ツク生姜水汁一ニ匙ヲ飲テ
即安シ○本綱主治部ニ云血汗即肌剝ニ又脈溢ト名
ク血毛ノ孔ヨリ出ル心ハ血ヲ主リ又汗ヲ主ル極虚ニテ
火アルナリ

脈疽 病源ニ云發シテ項ヲ環始病身隨テ熱シ動クア

々ハス憎トシテ或ハ食スルヲアヌハスト云リ

彌形 滿肚ノクニ妊娠月ヲモチユスル也

○志部

傷寒 冬寒ニ傷ラレテ即病ヲ傷寒ト云リ即病ズレテ其

寒毒肌骨ノ中ニカクレ春ニ至テ變ジテ温病トナリ夏
ハ變ジテ暑病トナル又熱病ト云リ暑病ハ温病ヨリモ重シ
辛苦ノ人春夏ニ必ス温暑ノ病アルモノハ皆其冬時觸冒ノ
致ス所ニ時行ノ氣ニアラス○顧生微論ニ云夫六氣皆ヨ
ク人ヲ害ス而シテ傷寒ヲ甚ニトス殺厲ノ氣其来ク甚
ク毒アリ若腎虚ノ人ハ太陽固カラス偏ニ寒ニ感ビヤスシ
或ハ卒ニ非常ノ冷ヲ受ケ寒毒肌膚ニ乘ビ冬ニ三月ニア
テ發スルモノヲ正傷寒ト名ツケ伏シテ發セズ春ニ至テ始テ發

是時江浙ノ地ニ疫多シ豫章ハ晏然タリ五人ハ乃チ疫
鬼ノ傳ハ必ス異人トラトナリ○近世疫疾流行ノ年此文宇
ヲ戸コトニ粘ス故ニ今令世記スモノ

嘔

嘔逆 咳逆 此ノ三病古未論アルハ俗ニカラエ
ツキト訓ス是東垣海藏カ乾嘔トナス説ニヨツテハ俗
ニシヤクリト訓ス今諸説ヲ引テ辯之○正傳ニ云韻書ニ
嘔ト飢ト通ス氣上逆ニテ声ヲナスノ名ナリ古方ニ皆飢
ノ以テ欬逆トス諸書ニモ多ク誤テ欬嗽ヲ以テ欬逆トス
孫真人又誤テ嘔ヲ以テ欬逆トス亦書ニ吃逆トスルモノ
アリ皆誤ナリ○要訣ニ云胃實スハ即噎シ胃虚スハ即嘔

逆ハ胃中ノ虚膈上ノ熱ニ咳逆ノ病ナル古コレヲ嘔ト云
近コレヲ呃ト云乃胃寒ノ生スル所ニ寒氣通上シテ呃
上スル此證最モ危シテ熱呃アリ○醫書大全ニ云咳逆
ノ證有人以テ嘔トスル是此證多クハ病後調理スル
ヲ得ス吐利ノ後胃中虚寒ニスルニヨツテ遂ニ此證ヲナス
○醫學綱目ニ云嘔ハ成無己許學士コレヲ吃逆トス是
或ノ曰成無己許學士固ヨリ嘔ヲ以テ吃逆トス然東
垣海藏又嘔ヲ以テ乾嘔トス朱肱陳無擇又嘔ヲ以テ
咳逆トス諸説同シカラス今予獨リ許成ニ家ノ説ヲ
取ルハ何ゾヤ答テ曰嘔ノ義具ニ内經ニアリ諸家コレヲ